

# 戦 評 用 紙

## 第49回全日本実業団ハンドボール選手権

大会戦評

平成 20 年 8 月 3 日 於 奥武山運動公園 10 時00分より  
県立武道館 11 時30分まで

審判 石崎章弘 ・ 浦川 寿生

立会人 大城 伸

チーム

ソニ-セミコンダクタ九州30 ( 15 - 13 ) 2/ 広島マイアールレッズ  
 ( 15 - 8 )

(前半)

ソニ-のドロ-オフで試合開始。開始30秒、ソニ-3番長野のシュートが決まる。直後、マイアールレッズ6番植垣のシュートで同点。6分マイアールレッズ2番工藤、6番植垣の連続得点で2点差とするもソニ-が7番工藤の得点を支切りに4連続得点で逆点する。9分ソニ-17番東、15分にもソニ-3番長野に警告が出され、ソニ-はチーム3枚目の警告。33分、16分9-7ソニ-リードの場面でマイアールレッズ6番植垣にも警告。21分にマイアールレッズ6番植垣が2分間の退場となるが、10番伊藤の速攻で11-10と1点差に追いつく。だが、退場の間に、7番工藤、9番高橋、退場者が戻った後にも7番工藤とソニ-が3連続得点でリードを広げる。14-10の場面から互いに得点を重ね、15-13とマイアールレッズが2点差に追いつく。29分ソニ-17番東が退場し、前半が終了。15-13でソニ-がリード。

(後半)

マイアールレッズのドロ-オフで後半開始。直後、マイアールレッズ2番大前、6番植垣の7mTで15-15と同点に追いつく。4分、16-16の場面からソニ-17番東が得点すると11分までの間に7連続得点で23-16とソニ-がリードする。その後、おやぐマイアールレッズ7番李が得点するも、再びソニ-が3連続得点で27-17とリードを広げる。17分ソニ-17番東が2回目の退場。その間、マイアールレッズは2番工藤が得点するが、27-18となかなか差は縮まらず。

戦評記入者

多和田 真尚

その後も、流れは変わらず。30-21とソニ-9点のリードで試合終了。